



■ 学習の積み残し解消に向けて

1 年冬から 2 年春にかけては、「成績をいかに積み上げるか、下げないか」という目標が、進路実現の重要な鍵となります。しかし、これを実行することは容易ではありません。

高校生としての学習スタイルを確立し、長期休みごとに積み残しを解消できているかどうか、学力向上の大きなポイントです。ぜひ、自信をもって取り組んでください。

ただし、冬休みは約 2 週間と短期間です。そこで、長いスパンで学習を計画し、12 月初旬から準備を始めることが重要です。定期考査終了後から取り組めるよう、教科課題を提示していますので、計画的に進めましょう。本通信の裏面には、課題整理のための枠組みを用意しています。

- ・全課題を自分でまとめる
- ・どれほど時間をかけるか見通しを立てる

これらを実行し、提出期限を守ることは最低限のルールです。さらに、冬休み明けには英・数・国の「生野ベーシックテスト」を実施します。短いサイクル(課題・小テスト)と長いサイクル(学年全体の学習計画)を組み合わせながら、学力のレベルアップを図っていきましょう。あなたの計画的な取り組みが、次のステップへの確かな力になります。

■ SSH探究特別講義「探究活動と社会貢献」

12 月 9 日 4・5 限は、岡山敏哉さん(大阪工業大学工学部建築学科教授・副学長)をお招きします。学生の社会貢献活動などの事例を知ることから、自分たちの学習を「社会」とつなげることを企画するワークを行います。

社会貢献と自己実現は二律背反ではありません。自分の働きかけが社会をよりよくしていくことを望んでキャリアを選択した方の話を聞いていると、課題をどんどん見つけて解決していく意欲に富んでいると感じます。今回、プランニングまで至らなくても、「知る」ということは、遠いものを引き寄せる、「自分ごと」にできる第一歩です。(**「風立ちぬ」14 号(10 月 2 日発行)**)主体的に聴講し、積極的にディスカッションをする皆さんの様子を楽しみにしています。

■ 学年レクリエーション

10 月から始動した「学年レクリエーション」。クラスでの企画段階から運営まで、「自分たちで創り上げる楽しさ」をぜひ体験してください。**あなたの一歩が、学年を動かします。**

こちらの内容も、主体的に！積極的に！という呼びかけですね。皆さんが本来持っているはずの力を、前向きに発揮できる雰囲気と集団をつくっていきましょう。

私たち教員も、その挑戦を心から応援しています。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

- 8 日(月) 4 限 補充授業 (教室掲示参照)
5 限 LHR (70 分)
河合塾模試申込等
Chromebook 必要
- 9 日(火) 4 5 限 SSH 特別講義 (体育館)
- 10 日(水) 4 5 限 学年レクリエーション (体育館)
- 18 日(木) LHR : 進路集会
- 23 日(火) LHR : 人権講演事後学習